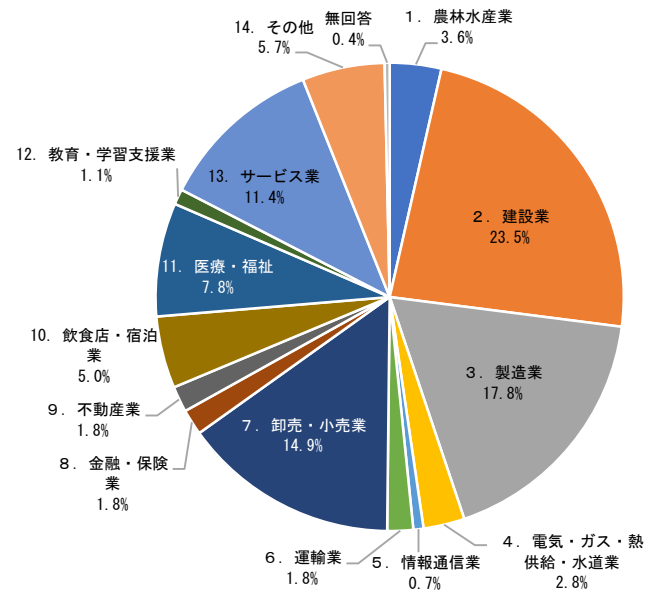


事業所アンケート調査結果

問 1. 属性

(1) 業種

1. 農林水産業	10	3.6%
2. 建設業	66	23.5%
3. 製造業	50	17.8%
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	8	2.8%
5. 情報通信業	2	0.7%
6. 運輸業	5	1.8%
7. 卸売・小売業	42	14.9%
8. 金融・保険業	5	1.8%
9. 不動産業	5	1.8%
10. 飲食店・宿泊業	14	5.0%
11. 医療・福祉	22	7.8%
12. 教育・学習支援業	3	1.1%
13. サービス業	32	11.4%
14. その他	16	5.7%
無回答	1	0.4%

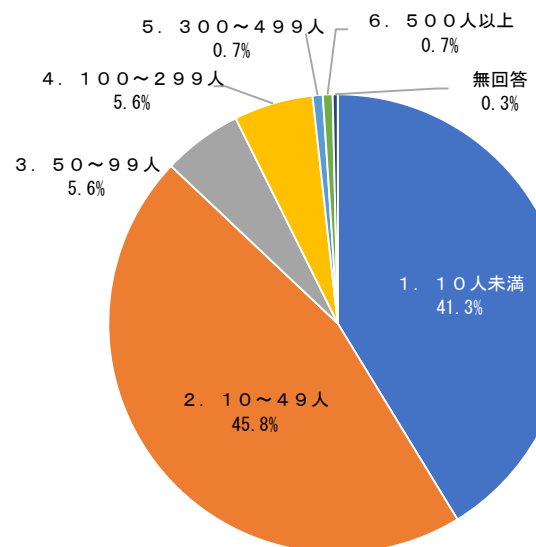


回答者の業種は「建設業」(23.5%)が最も多く、製造業(17.8%)、卸売・小売業(14.9%)と続いています。

(2) 従業員数

1. 10人未満	118	41.3%
2. 10～49人	131	45.8%
3. 50～99人	16	5.6%
4. 100～299人	16	5.6%
5. 300～499人	2	0.7%
6. 500人以上	2	0.7%
無回答	1	0.3%

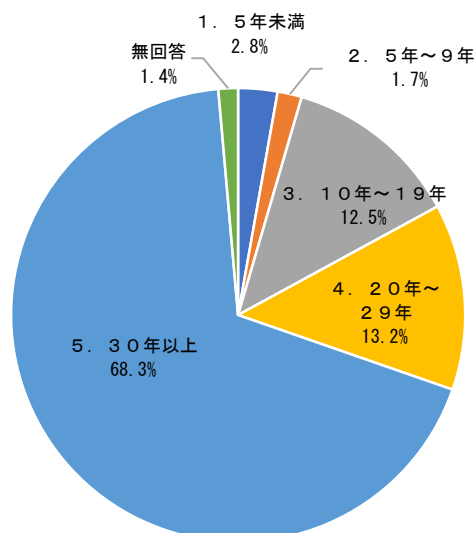
従業員数は、「10～49人」(45.8%)が最も多く、次いで「10人未満」(41.3%)が多くなっています。



(3) 事業年数

1. 5年未満	8	2.8%
2. 5年～9年	5	1.7%
3. 10年～19年	36	12.5%
4. 20年～29年	38	13.2%
5. 30年以上	196	68.3%
無回答	4	1.4%

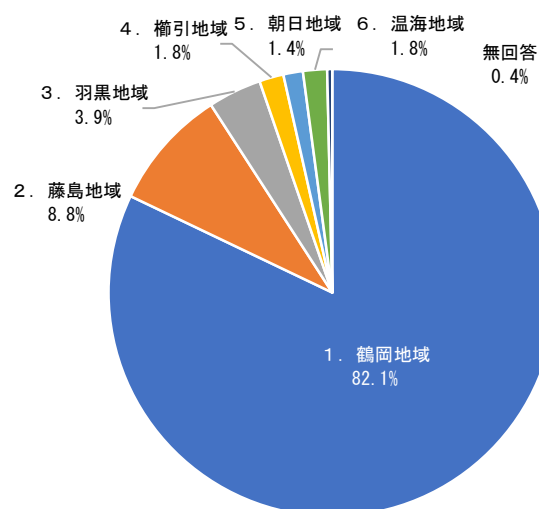
事業年数は、「30年以上」（68.3%）が最も多く、半分以上を占めています。



(4) 事業所所在地

1. 鶴岡地域	234	82.1%
2. 藤島地域	25	8.8%
3. 羽黒地域	11	3.9%
4. 楢引地域	5	1.8%
5. 朝日地域	4	1.4%
6. 温海地域	5	1.8%
無回答	1	0.4%

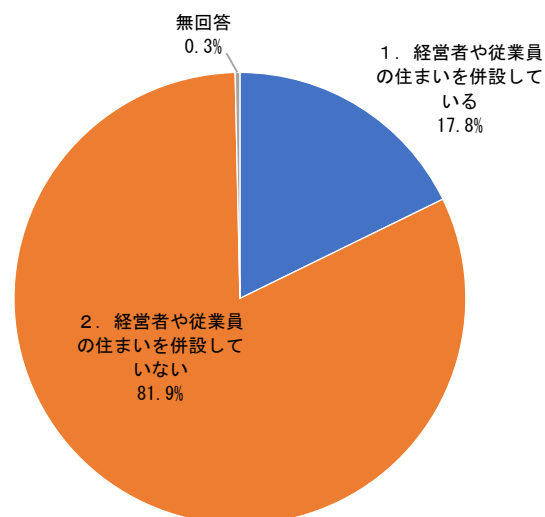
事業所所在地は、「鶴岡地域」（82.1%）が最も多く、8割以上を占めています。



(5) 住まいの併設

1. 経営者や従業員の住まいを併設している	51	17.8%
2. 経営者や従業員の住まいを併設していない	235	81.9%
無回答	1	0.3%

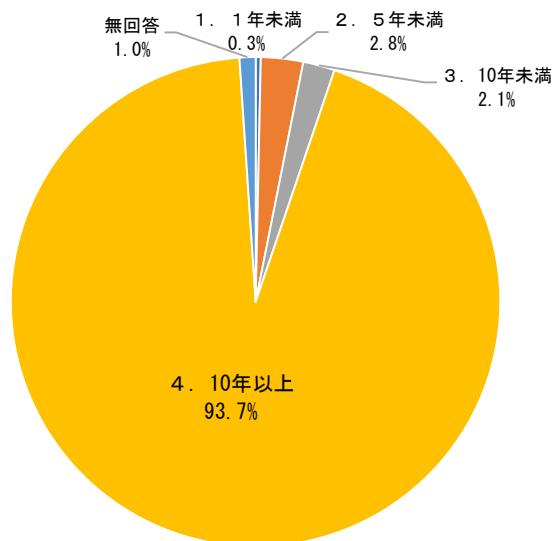
8割以上が住まいを併設していません。



(6) 本市での営業年数

1. 1年未満	1	0.3%
2. 5年未満	8	2.8%
3. 10年未満	6	2.1%
4. 10年以上	269	93.7%
無回答	3	1.0%

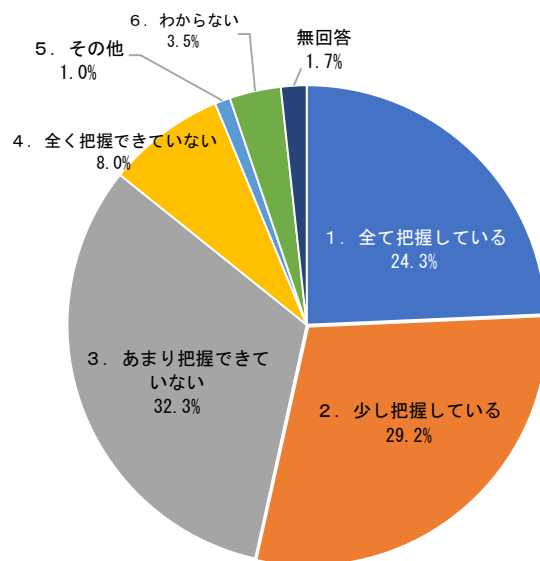
営業年数は、「10年以上」（93.7%）が最も多く、ほとんどを占めています。



問2 貴事業所は、年間のごみの排出量を把握していますか。

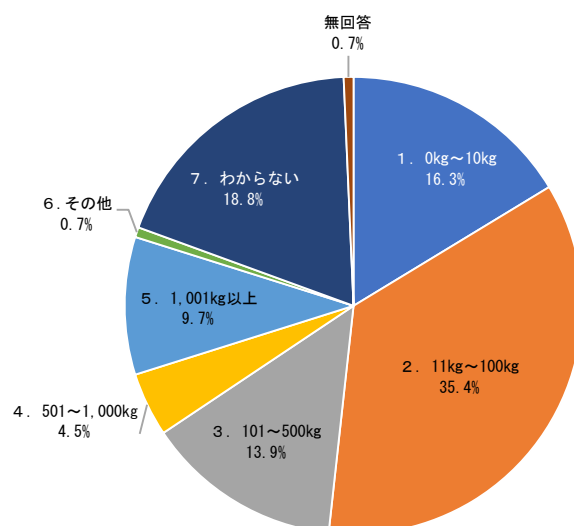
1. 全て把握している	70	24.3%
2. 少し把握している	84	29.2%
3. あまり把握できていない	93	32.3%
4. 全く把握できていない	23	8.0%
5. その他	3	1.0%
6. わからない	10	3.5%
無回答	5	1.7%

回答事業所のうち、年間のごみの排出量を把握している事業所が約半分、そして4割の事業所は把握していませんでした。



問3 貴事業所から発生する、1か月分のごみの排出量はどのくらいですか。

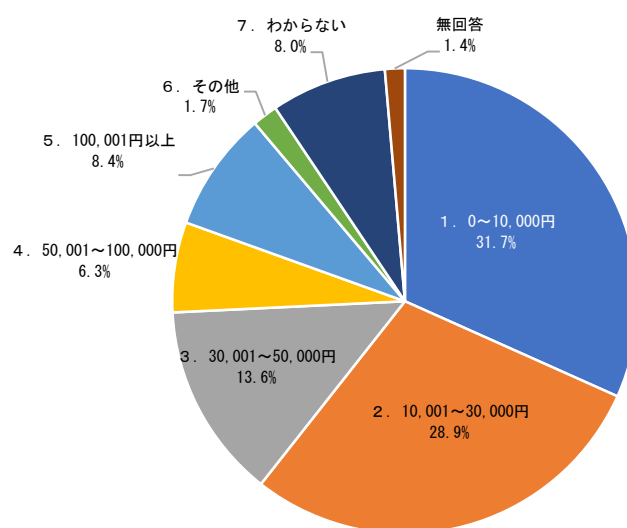
1. 0～10 kg	47	16.3%
2. 11～100 kg	102	35.4%
3. 101～500 kg	40	13.9%
4. 501～1,000kg	13	4.5%
5. 1,001 kg以上	28	9.7%
6. その他	2	0.7%
7. わからない	54	18.8%
無回答	2	0.7%



1か月分のごみの排出量は、「11～100kg」(35.4%)が最も多く、「わからない」(18.8%)、「0～10kg」(16.3%)と続いています。

問4 貴事業所から発生する、1か月分のごみの処理費用はどのくらいですか。

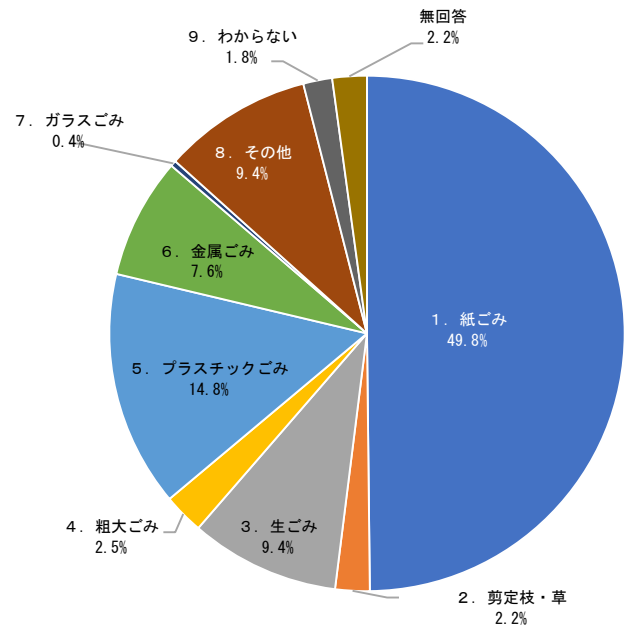
1. 0～10,000 円	91	31.7%
2. 10,001～30,000 円	83	28.9%
3. 30,001～50,000 円	39	13.6%
4. 50,001～100,000 円	18	6.3%
5. 100,001 円以上	24	8.4%
6. その他	5	1.7%
7. わからない	23	8.0%
無回答	4	1.4%



1か月分のごみの処理費用は、「0～10,000 円」(31.7%)が最も多く、次いで「10,001～30,000 円」(28.9%)が多くなっています。

問5 貴事業所から発生するごみで最も多いものは何ですか。

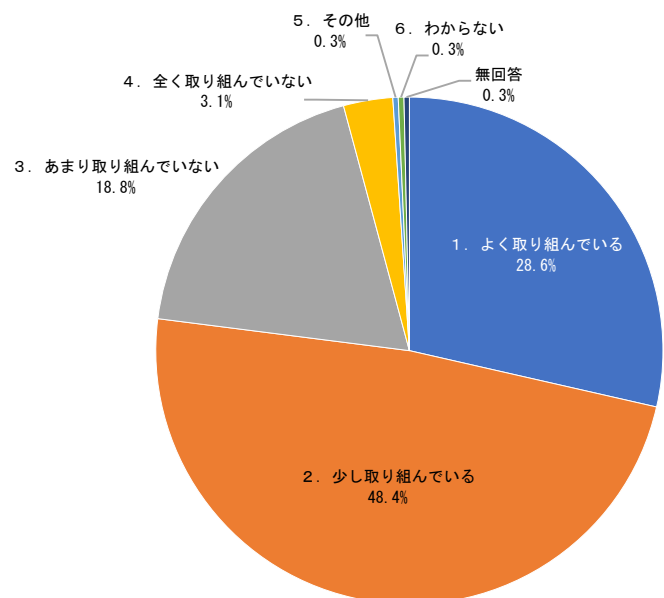
1. 紙ごみ	138	49.8%
2. 剪定枝・草	6	2.2%
3. 生ごみ	26	9.4%
4. 粗大ごみ	7	2.5%
5. プラスチックごみ	41	14.8%
6. 金属ごみ	21	7.6%
7. ガラスごみ	1	0.4%
8. その他	26	9.4%
9. わからない	5	1.8%
無回答	6	2.2%



発生するごみで最も多かったものは、「紙ごみ」(49.8%)で、次に「プラスチックごみ」(14.8%)となっています。

問6 貴事業所は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。

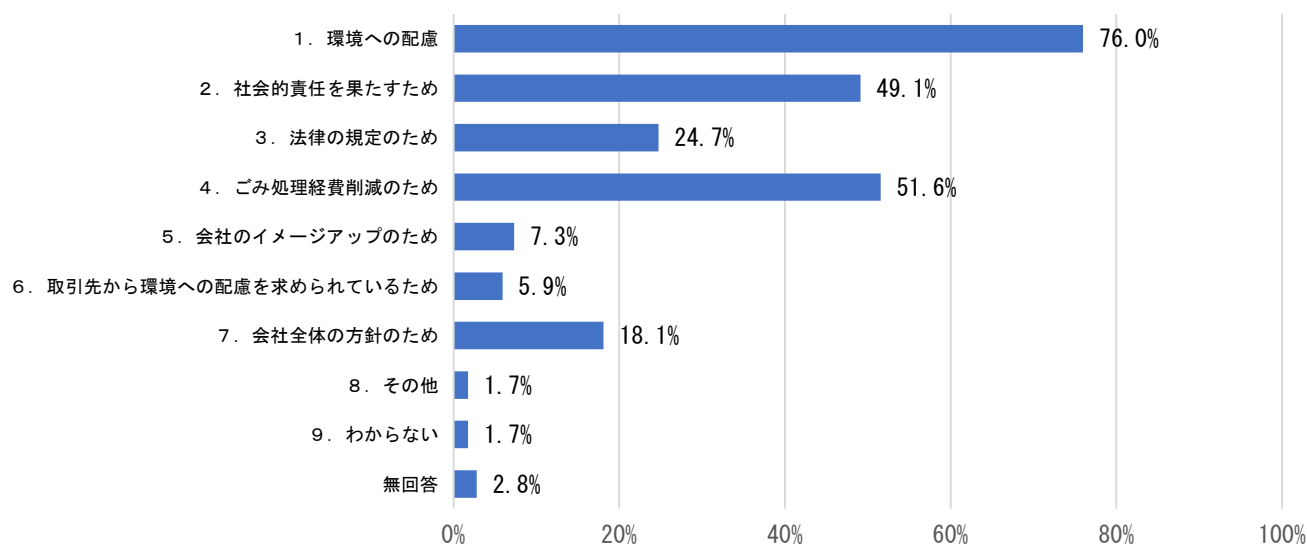
1. よく取り組んでいる	82	28.6%
2. 少し取り組んでいる	139	48.4%
3. あまり取り組んでいない	54	18.8%
4. 全く取り組んでいない	9	3.1%
5. その他	1	0.3%
6. わからない	1	0.3%
無回答	1	0.3%
合計	287	100.0%



約80%の事業所がごみの減量やリサイクルに取り組んでいます。

問7 ごみの減量や資源化に取り組む理由について、あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

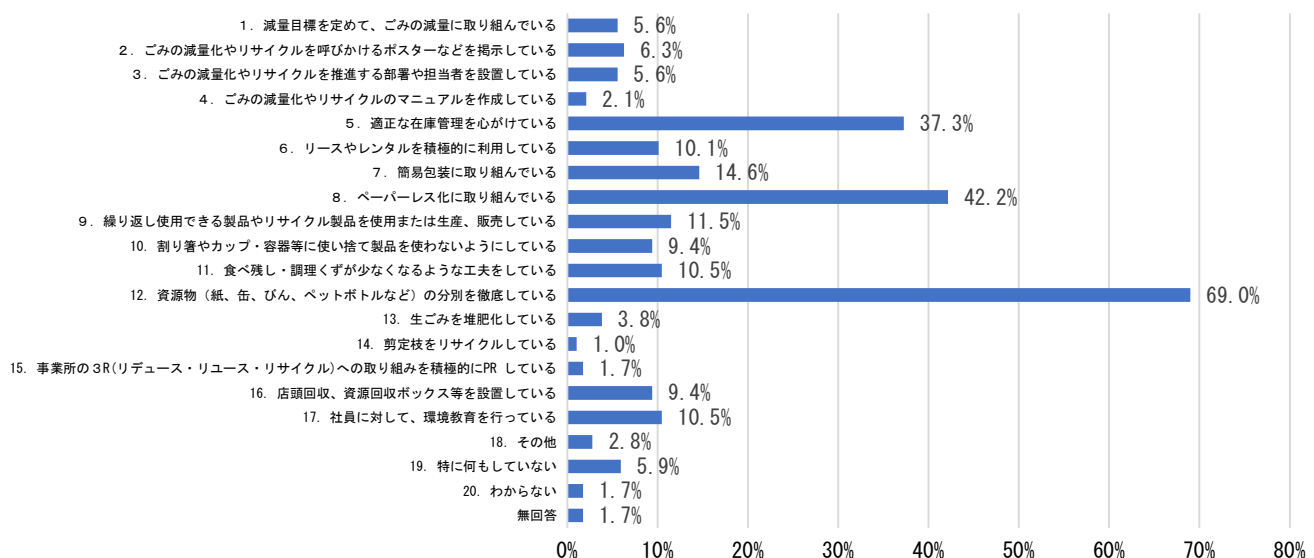
1. 環境への配慮	218	76.0%
2. 社会的責任を果たすため	141	49.1%
3. 法律の規定のため	71	24.7%
4. ごみ処理経費削減のため	148	51.6%
5. 会社のイメージアップのため	21	7.3%
6. 取引先から環境への配慮を求められているため	17	5.9%
7. 会社全体の方針のため	52	18.1%
8. その他	5	1.7%
9. わからない	5	1.7%
無回答	8	2.8%



「環境への配慮」(76.0%)が最も高く、「ごみ処理経費削減のため」(51.6%)「社会的責任を果たすため」(49.1%)と続いています。

問8 貴事業所が実践しているごみ減量のための取組みについて、あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

1. 減量目標を定めて、ごみの減量に取り組んでいる	16	5.6%
2. ごみの減量化やリサイクルを呼びかけるポスターなどを掲示している	18	6.3%
3. ごみの減量化やリサイクルを推進する部署や担当者を設置している	16	5.6%
4. ごみの減量化やリサイクルのマニュアルを作成している	6	2.1%
5. 適正な在庫管理を心がけている	107	37.3%
6. リースやレンタルを積極的に利用している	29	10.1%
7. 簡易包装に取り組んでいる	42	14.6%
8. ペーパーレス化に取り組んでいる	121	42.2%
9. 繰り返し使用できる製品やリサイクル製品を使用または生産、販売している	33	11.5%
10. 割り箸やカップ・容器等に使い捨て製品を使わないようにしている	27	9.4%
11. 食べ残し・調理くずが少なくなるような工夫をしている	30	10.5%
12. 資源物（紙、缶、びん、ペットボトルなど）の分別を徹底している	198	69.0%
13. 生ごみを堆肥化している	11	3.8%
14. 剪定枝をリサイクルしている	3	1.0%
15. 事業所の3R(リデュース・リユース・リサイクル)への取り組みを積極的にPRしている	5	1.7%
16. 店頭回収、資源回収ボックス等を設置している	27	9.4%
17. 社員に対して、環境教育を行っている	30	10.5%
18. その他	8	2.8%
19. 特に何もしていない	17	5.9%
20. わからない	5	1.7%
無回答	5	1.7%

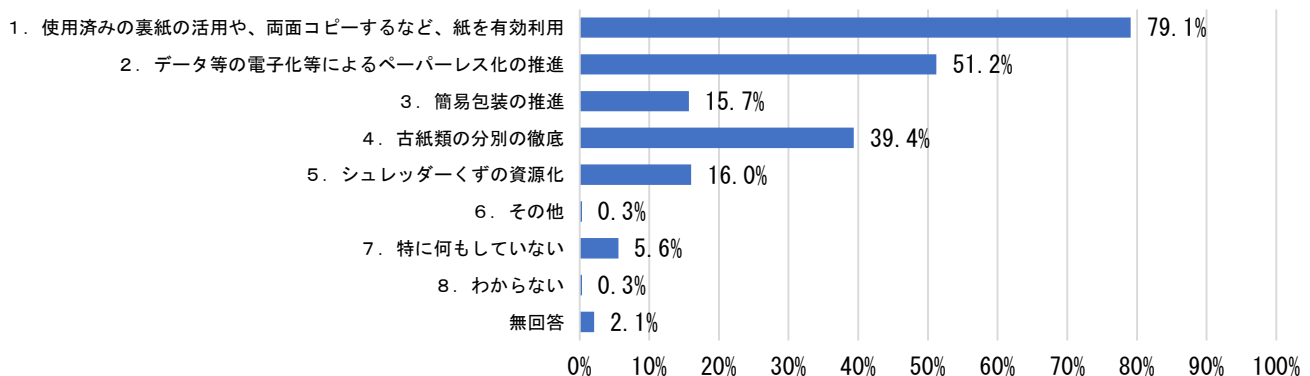


「資源物（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別を徹底している」（69.0%）が最も多く、「ペーパーレス化に取り組んでいる」（42.2%）、
「適正な在庫管理を心がけている」（37.3%）と続いています。

問9 貴事業所が実践している古紙類の減量・資源化のための取組みについて、あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

1. 使用済みの裏紙の活用や、両面コピーするなど、紙を有効利用	227	79.1%
2. データ等の電子化等によるペーパーレス化の推進	147	51.2%
3. 簡易包装の推進	45	15.7%
4. 古紙類の分別の徹底	113	39.4%
5. シュレッダーくずの資源化	46	16.0%
6. その他	1	0.3%
7. 特に何もしていない	16	5.6%
8. わからない	1	0.3%
無回答	6	2.1%

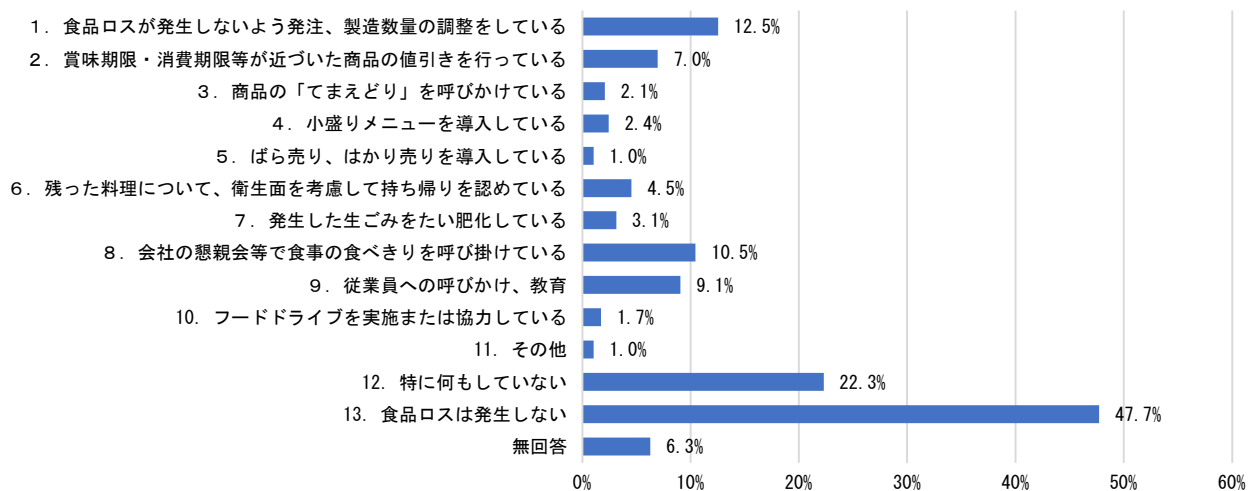
「使用済みの裏紙の活用や、両面コピーするなど、紙を有効利用」(79.1%)が最も多く、次いで「データ等の電子化等によるペーパーレス化の推進」(51.2%)となっています。



問10 貴事業所が実践している食品ロスの削減のための取組みについて、あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

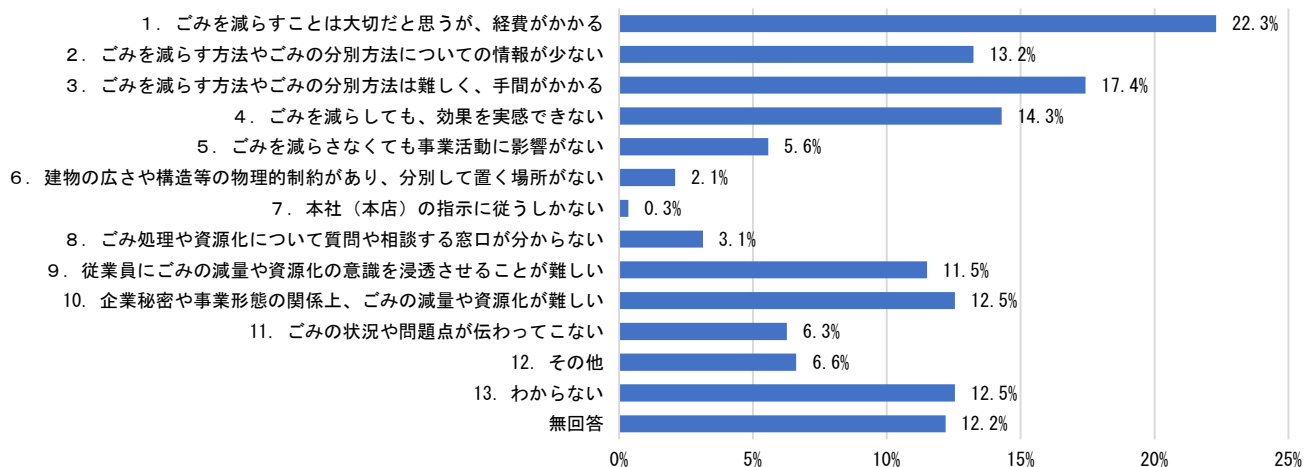
1. 食品ロスが発生しないよう発注、製造数量の調整をしている	36	12.5%
2. 賞味期限・消費期限等が近づいた商品の値引きを行っている	20	7.0%
3. 商品の「てまえどり」を呼びかけている	6	2.1%
4. 小盛りメニューを導入している	7	2.4%
5. ばら売り、はかり売りを導入している	3	1.0%
6. 残った料理について、衛生面を考慮して持ち帰りを認めている	13	4.5%
7. 発生した生ごみを堆肥化している	9	3.1%
8. 会社の懇親会等で食事の食べきりを呼び掛けている	30	10.5%
9. 従業員への呼びかけ、教育	26	9.1%
10. フードドライブを実施または協力している	5	1.7%
11. その他	3	1.0%
12. 特に何もしていない	64	22.3%
13. 食品ロスは発生しない	137	47.7%
無回答	18	6.3%

食品ロスの削減のための取組を実施している事業所で「食品ロスが発生しないよう発注、製造数量の調整をしている」(12.5%)が最も多く、次いで「会社の懇親会等で食事の食べきりを呼び掛けている」(10.5%)となっています。



問 11 貴事業所で、ごみ減量や資源化を進めていくうえで主な問題点は何ですか。あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

1. ごみを減らすことは大切だと思うが、経費がかかる	64	22.3%
2. ごみを減らす方法やごみの分別方法についての情報が少ない	38	13.2%
3. ごみを減らす方法やごみの分別方法は難しく、手間がかかる	49	17.4%
4. ごみを減らしても、効果を実感できない	41	14.3%
5. ごみを減らさなくても事業活動に影響がない	16	5.6%
6. 建物の広さや構造等の物理的制約があり、分別して置く場所がない	6	2.1%
7. 本社（本店）の指示に従うしかない	1	0.3%
8. ごみ処理や資源化について質問や相談する窓口が分からない	9	3.1%
9. 従業員にごみの減量や資源化の意識を浸透させることが難しい	33	11.5%
10. 企業秘密や事業形態の関係上、ごみの減量や資源化が難しい	36	12.5%
11. ごみの状況や問題点が伝わってこない	18	6.3%
12. その他	20	6.6%
13. わからない	36	12.5%
無回答	35	12.2%

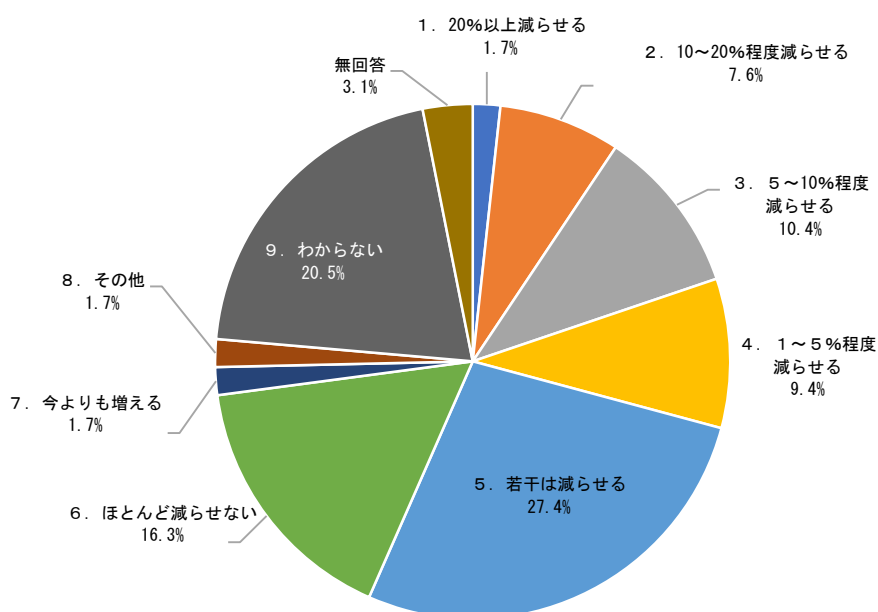


「ごみを減らすことは大切だと思うが、経費がかかる。」（22.3%）が最も多く、次いで「ごみを減らす方法やごみの分別方法は難しく、手間がかかる。」（17.4%）が多くなっています。

問 12 貴事業所では、今後 10 年間でごみの量をどの程度まで減らすことが可能だと考えますか。

番号を 1 つ選び○で囲んでください。

1. 20%以上減らせる	5	1.7%
2. 10～20%程度減らせる	22	7.6%
3. 5～10%程度減らせる	30	10.4%
4. 1～5%程度減らせる	27	9.4%
5. 若干は減らせる	79	27.4%
6. ほとんど減らせない	47	16.3%
7. 今よりも増える	5	1.7%
8. その他	5	1.7%
9. わからない	59	20.5%
無回答	9	3.1%



「若干は減らせる」(27.4%) が最も多く、「わからない」(20.5%)、
「ほとんど減らせない」(16.3%) と続いています。

問 13 ごみの減量・資源化のため、市はどのような取り組みを重点的に進めていくのが望ましいと思いますか。※抜粋して掲載しております。

○ 情報発信について 10件

- ・コンポストの取り扱いについての周知
- ・減量、資源化のための具体的な取り組み方法や捨て方の周知活動
- ・違反ゴミの件数の多い地区の公表
- ・減量・資源化の必要性の周知
- ・処理業者情報の周知
- ・具体的事例の紹介を頻繁に行う
- ・LINE 等で周知の徹底
- ・PR 活動の強化（リサイクルプラザなど）

他 2 件のご意見がありました。

○ 収集運搬について 2件

- ・資源ごみ、電池、ガス缶の回収頻度の増加

他 1 件のご意見がありました。

○ 環境教育・イベント実施について 4件

- ・成果の可視化と教育
- ・学校でのリサイクルについての教育
- ・おさがり（リサイクル）頒布会やリサイクルについてのイベントの実施

他 1 件のご意見がありました。

○ 資源回収について 4件

- ・使用済封筒を回収し、行政機関などで活用する取り組み
- ・鶴岡市で再生資源を買取る取り組み
- ・プライバシーを保護できるような古紙回収方法の提案

他 1 件のご意見がありました。

○ ごみ袋について 3件

- ・市販の袋をごみ袋として使用出来る仕組みの検討
- ・ごみ袋の値上と受入の拡大
- ・ごみ袋の収益によって行われる事業の公開

○ ペーパーレス化について 3件

- ・事業所とのやり取りにおける紙の廃止と電子化
- ・工事打合せに関する情報共有の採用

他 1 件のご意見がありました。

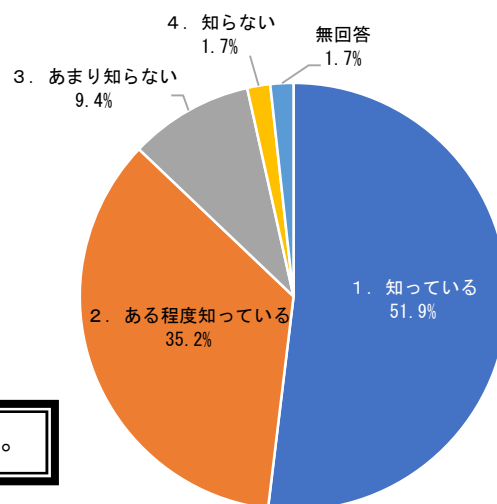
○ その他 6件

- ・ 市民や市内の事業所が家具や什器、家電などを自由に譲渡、譲受できる施設の設置、運営
- ・ ごみの分別の簡素化
- ・ 店頭リサイクルのルール公表
- ・ プラスチック類、木製パレットなど、産業廃棄物の企業間でのリユース支援

他2件のご意見がありました。

問14 事業所から排出されるごみは、事業系一般廃棄物（紙くず、剪定枝、生ごみなど）と産業廃棄物（廃プラスチック、金属くず、ガラスくず、廃油など）に分けられ、それぞれ処理方法が異なります。事業系一般廃棄物と産業廃棄物の区分の違いを知っていますか。あてはまる選択肢を1つ選んでください。

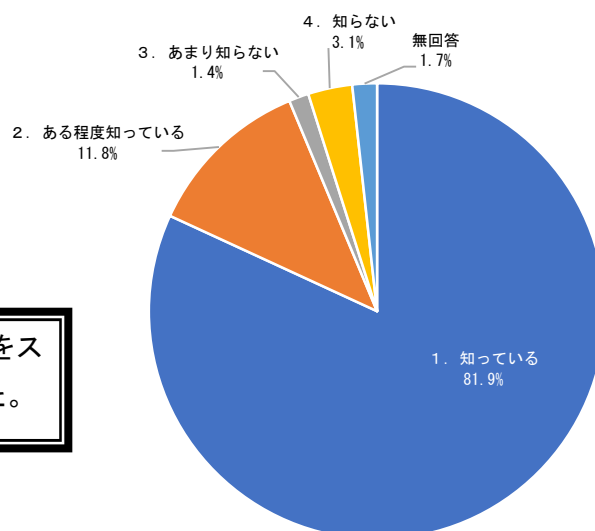
1. 知っている	149	51.9%
2. ある程度知っている	101	35.2%
3. あまり知らない	27	9.4%
4. 知らない	5	1.7%
無回答	5	1.7%



回答した事業所の9割近くが区分の違いを知っていました。

問15 事業所から排出されるごみは、ごみステーションに出してはいけないことを知っていますか。あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。

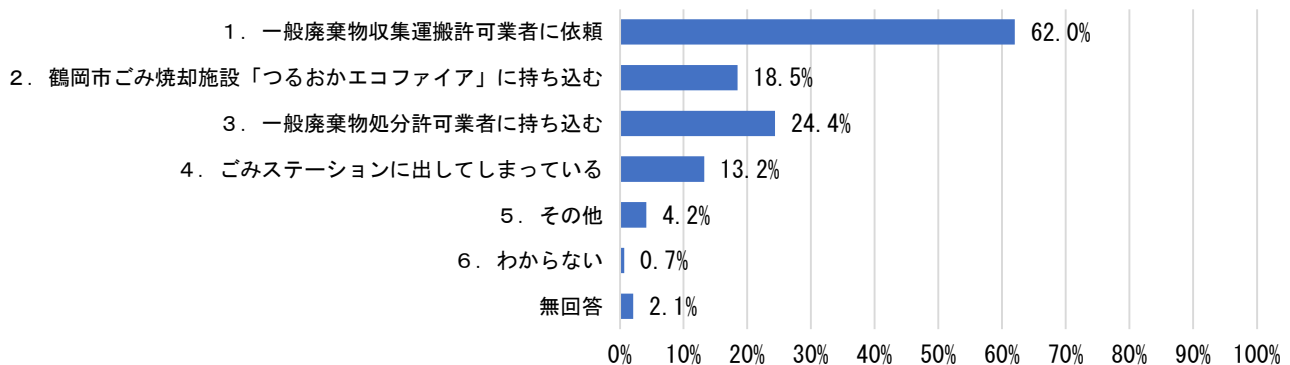
1. 知っている	235	81.9%
2. ある程度知っている	34	11.8%
3. あまり知らない	4	1.4%
4. 知らない	9	3.1%
無回答	5	1.7%



回答した事業所の9割以上が、事業所から出るごみをステーションに出してはいけないことを知っていました。

問 16 事業系一般廃棄物（紙くず、剪定枝、生ごみなど）について、どのように処理していますか。
あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

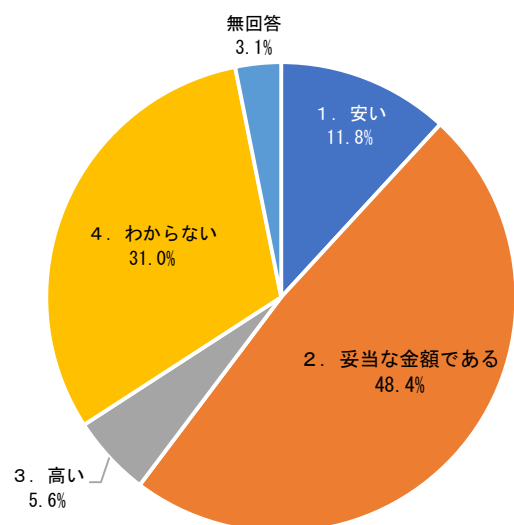
1. 一般廃棄物収集運搬許可業者に依頼	178	62.0%
2. 鶴岡市ごみ焼却施設「つるおかエコファイア」に持ち込む	53	18.5%
3. 一般廃棄物処分許可業者に持ち込む	70	24.4%
4. ごみステーションに出してしまっている	38	13.2%
5. その他	12	4.2%
6. わからない	2	0.7%
無回答	6	2.1%



事業系一般廃棄物の処理について、「一般廃棄物収集運搬許可業者に依頼」（62.0%）が最も多く、半分以上を占めていました。

問 17 鶴岡市ごみ焼却施設「つるおかエコファイア」では、事業系一般廃棄物（紙くず、剪定枝、生ごみなど）を持ち込んだ場合、10 kgにつき 120 円で受入れ処理しています。この料金についてどのように思われますか。

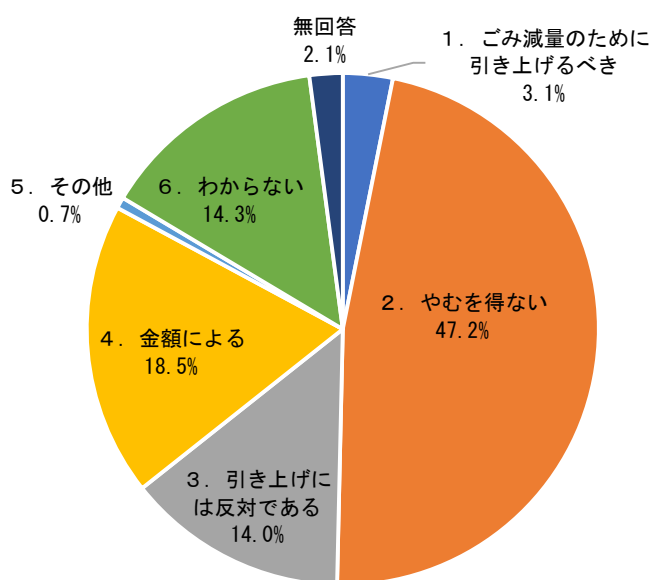
1. 安い	34	11.8%
2. 妥当な金額である	139	48.4%
3. 高い	16	5.6%
4. わからない	89	31.0%
無回答	9	3.1%



回答者の約 60%が「安い」及び「妥当な金額である」と回答しました。

問 18 鶴岡市ごみ焼却施設「つるおかエコファイア」の 10 kgにつき 120 円という料金は、ごみ処理原価に比較して安価となっています。今後、ごみ処理手数料を引き上げた場合、どのように思われますか。

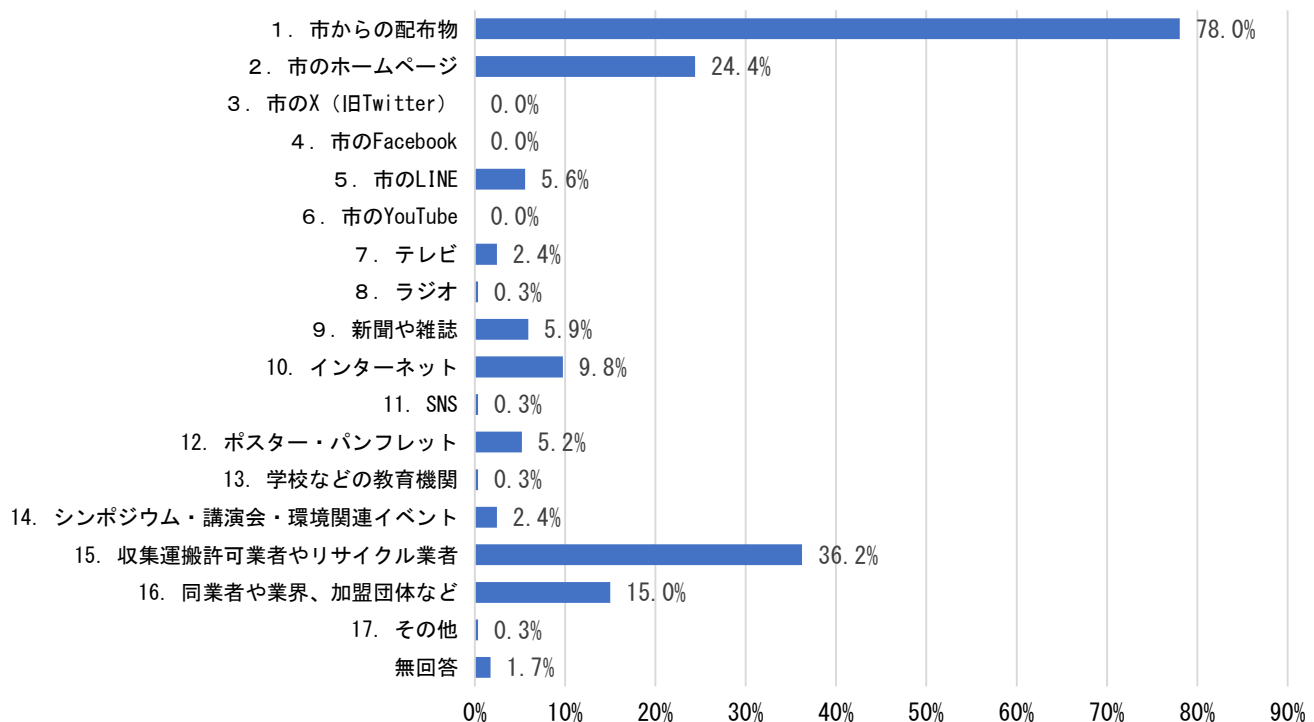
1. ごみ減量のために引き上げるべき	9	3.1%
2. やむを得ない	135	47.2%
3. 引き上げには反対である	40	14.0%
4. 金額による	53	18.5%
5. その他	2	0.7%
6. わからない	41	14.3%
無回答	6	2.1%



ごみ処理手数料を引き上げた場合、「やむを得ない」(47.2%) が約半分、「金額による」は 18.5%、「引き上げには反対である」と回答した事業所は 14.3%でした。

問 19 貴事業所は、ごみの減量や分別、リサイクルに関する知識や情報をどのように入手していますか。
次の中からあてはまるすべての番号を○で囲んでください。

1. 市からの配布物 (広報つるおかやエコ通信、ごみの分け方出し方ガイドブックなど)	224	78.0%
2. 市のホームページ	70	24.4%
3. 市のX (旧 Twitter)	0	0.0%
4. 市の Facebook	0	0.0%
5. 市の LINE	16	5.6%
6. 市の YouTube	0	0.0%
7. テレビ	7	2.4%
8. ラジオ	1	0.3%
9. 新聞や雑誌	17	5.9%
10. インターネット	28	9.8%
11. SNS	1	0.3%
12. ポスター・パンフレット	15	5.2%
13. 学校などの教育機関	1	0.3%
14. シンポジウム・講演会・環境関連イベント	7	2.4%
15. 収集運搬許可業者やリサイクル業者	104	36.2%
16. 同業者や業界、加盟団体など	43	15.0%
17. その他	1	0.3%
無回答	5	1.7%

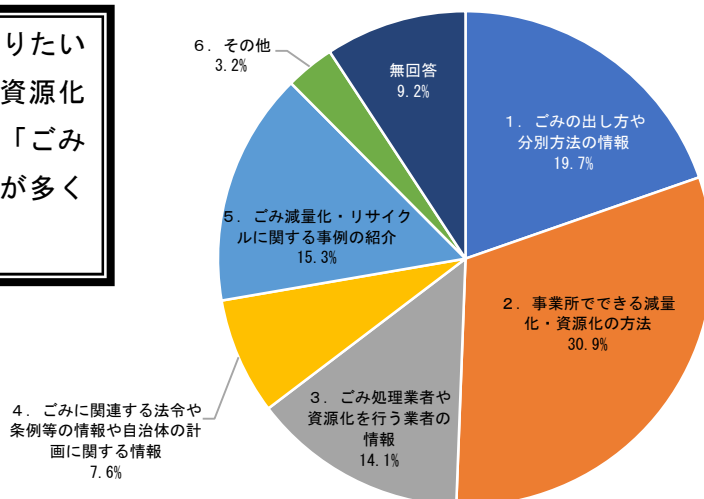


ごみの減量やリサイクルになどに関する知識や情報源について、「市からの配布物」(78.0%)が最も多く、「収集運搬許可業者やリサイクル業者」(36.2%)、「市のホームページ」(24.4%)と続いています。

問 20 ごみの減量・分別・リサイクルについて、もっと知りたい情報はどのようなものですか。

1. ごみの出し方や分別方法の情報	49	19.7%
2. 事業所でできる減量化・資源化の方法	77	30.9%
3. ごみ処理業者や資源化を行う業者の情報	35	14.1%
4. ごみに関連する法令や条例等の情報や自治体の計画に関する情報	19	7.6%
5. ごみ減量化・リサイクルに関する事例の紹介	38	15.3%
6. その他	8	3.2%
無回答	23	9.2%

ごみの減量やリサイクルについてより知りたい情報として、「事業所でできる減量化・資源化の方法」(30.9%)が最も多く、次いで「ごみの出し方や分別方法の情報」(19.7%)が多くなっています。



問 21 ごみの減量や分別、適正処理についてご意見やご要望がありました。

※抜粋して掲載しております。

○ 適正処理について 1 件

- ・ 商売で使用している発泡スチロールを大量にごみステーションに置いていく事例があり、適正処理について市、警察に相談したことがある。

○ ごみ減量について 3 件

- ・ 大手メーカーでは包装などが多く、ごみの減量につなげにくい。
- ・ 弁当・惣菜などのプラスチック容器の削減する方法を知りたい。

○ その他 1 件

- ・ ガイドブックに分別方法が詳しく載っているので、とてもわかりやすい。

問 22 その他、市のごみ処理全般についてご意見やご要望がありました。※抜粋して掲載しております。

○ ごみステーション・収集運搬について 3 件

- ・ 可燃、プラスチック、ペットボトルの収集頻度は適正だと思う。緑や青、蛍光管、乾電池等の収集は 1 回にまとめても良いと思う。

他 2 件のご意見がありました。

○ 情報発信について 3件

- ・ たばこを吸う人に受動喫煙等を含めたポイ捨て禁止を徹底してほしい。

他2件のご意見がありました。

○ その他 2件

- ・ 脱炭素社会を目指す観点から、ごみ焼却による熱を利用した発電、売電を行うつるおかエコファイアの取組などが、市内企業にとって環境面で有益であれば、企業誘致や産業の発展につながると思うので期待したい。

他1件のご意見がありました。